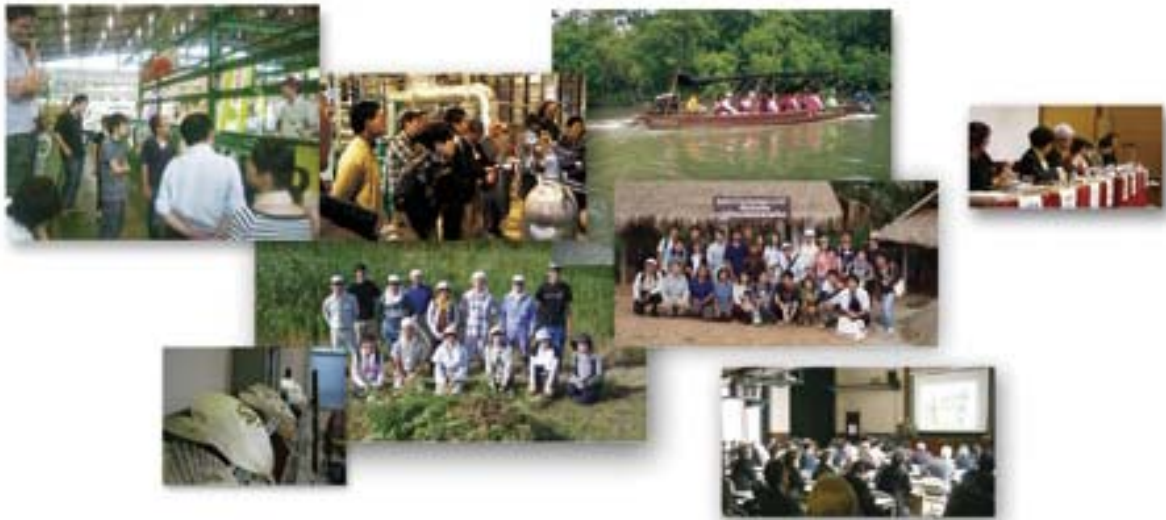


産学官民連携室 (アグリコクーン) 農学の教育・研究を社会とともに



産学官民連携室は、農学本来の特徴である学問融合型の教育・研究活動をサポートしています。2005年度に産学官民連携型農学生命科学研究インキュベータ機構(通称アグリコクーン)が設立され、産学官民連携室はその事務局として発足しました。

専攻・専門を超えて60名以上の教員が5つのフォーラムグループ(FG)(食の安全・安心、バイオマス利用研究、国際農業と文化、生物多様性・生態系再生、情報利用研究)に集い、学際的な教育・研究活動を行っています。また産学官民連携活動を通じて、大学外からの教育活動への参画と国内外の地域との交流を進め、研究成果の社会への発信を続けてきました。それは著名な海外研究者を招いた国際シンポジウムの開催から、カイコが団扇をつくる姿の展示まで驚くほど幅広いものです。

アグリコクーンでは新しい教育・研究のあり方を模索してきました。研究や実業の現場で最先端の活躍する人々を大学院での教育・研究活動の場に招へいしたり、教員と学生が現場に出向いたりして、専門知の交流と協力関係の構築への取り組みを進めています。また支援機関の組織化をして、アグリコクーンパートナーには財政的助成を、ビジネス・アラム

ニアドバイザーグループ(BAG)には定期的な実習の受け入れをお願いしています。

取り組みを積み重ね、いくつかの成果が生まれています。食の安全・安心FGが基盤となって、一昨年2月、研究科内に「食の安全研究センター」が設立されました。またバイオマス利用研究FGの活動が契機となって、本研究科は昨年8月、新日本石油株式会社との組織的連携活動を開始しました。

本研究科は今後もアグリコクーンを通じて教育・研究のネットワークを社会に広く開放していきます。詳しくはホームページ(<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp>)をご覧ください。

産学官民連携室へのお問い合わせ
Tel: 03-5841-8882 / Fax: 03-5841-8883
Email: office@agc.a.u-tokyo.ac.jp

アグリコクーン事務局長 /
農業・資源経済学専攻 食料・資源経済学研究室
なしまやすひろ
中嶋康博 准教授